

## ■講演討論会「地震火災対策の現状と課題 -阪神・淡路大震災と東日本大震災を経験して-」■

公益社団法人 日本火災学会  
学術委員会

阪神・淡路大震災の発生からちょうど 20 年が経過し、この間、東日本大震災など多数の大災害を経験してきました。これらの災害では、地震直後の火災の同時多発、木造密集市街地における延焼拡大、中高層建築物の防火設備等の損傷、山間部等での消防覚知、駆けつけの遅れ、津波火災時の避難・消火活動の困難など様々な課題が露呈しました。今後いつ発生してもおかしくない次の災害に備えて、現状の再確認と対策を進めていく必要があります。

本講演討論会では、阪神・淡路大震災から 20 年を総括し、阪神・淡路大震災や東日本大震災の被害状況の分析、対策の現状の報告、特に、都市部における市街地火災と中高層建築物の火災に関連する報告を行い、見落とされている対策はないか、今後対応すべき課題は何かなど、被害軽減を進めるための討論を行います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

—記—

**主 題**：「地震火災対策の現状と課題 -阪神・淡路大震災と東日本大震災を経験して-」

**参加費**：無料（ただし、テキスト代 1,500 円）

**申 込**：当日受付

**開催日**：平成 27 年 1 月 19 日（月）

13:00～16:30

**会 場**：文京シビックセンター（小ホール）

〒112-8555 東京都文京区春日 1-16-21

・東京メトロ丸ノ内線・南北線：

後楽園駅徒歩 1 分

・都営三田線・大江戸線：

春日駅徒歩 1 分

・JR 総武線・中央線：水道橋駅徒歩 8 分

### 【プログラム】

**開催挨拶** 13:00～13:05 学術委員長 松山 賢

**講 演** 13:05～15:20 司会 岩見 達也

13:05～13:30 「阪神・淡路大震災から 20 年」

鍵本 敦（神戸市消防局）

13:30～13:55 「地震火災への認識と問題提起の行方」

北後 明彦（神戸大学）

13:55～14:20 「阪神の事例と東日本の調査結果」

村田 明子（清水建設（株））

（休憩 14:20～14:30）

14:30～14:55 「防火関連設備の地震被害」

村岡 宏（（株）大林組）

14:55～15:20 「中高層建築物で想定される火災被害」

樋本 圭佑（（独）建築研究所）

（休憩 15:20～15:35）

**討 論** 15:35～16:25

司会 成瀬 友宏（（独）建築研究所）

記録 風間 守（警視庁科学捜査研究所）

**閉会挨拶** 16:25～16:30 関澤 愛（東京理科大学）

